

◆自由民主党・幼児教育議員連盟総会開かれる

幼児教育の無償化の実現等に関する決議を議決

12月17日、東京永田町の自由民主党本部で、自由民主党・幼児教育議員連盟総会が開催され、多くの国会議員の先生方にご出席いただき、政府からは文部科学省の担当者が出席しました。

中曽根弘文幼児教育議員連盟会長の挨拶の後、文部科学省の蝦名喜之幼児教育課長から、「平成26年度幼児教育関係予算概算要求の概要」について説明が行われ、質疑応答が行われました。

幼児教育の無償化については、本年6月に幼児教育無償化に関する関係閣僚・与党実務者連絡会議において、「幼児教育無償化に向けた基本方向」が取りまとめられましたが、党を挙げて幼児教育のさらなる振興を図っていくために、満場一致で、平成26年度予算において、次の2点について決議が行われました。

- 一、 幼児教育の無償化を推進するため、幼稚園就園奨励費補助において、幼稚園と保育所の「負担の平準化」を図る観点から、低所得世帯・多子世帯の保護者負担について保育所と同様の軽減措置を行うこと。
- 二、 私立幼稚園が負っている重要な役割に鑑み、預かり保育や特別支援教育の一層の充実を含め、充実した教育環境を保障するための私立高等学校等経常費助成費補助の大幅な拡充を図ること。

全日私幼連では、香川敬会長を先頭に、幼児教育の無償化の実現と平成26年度予算の大幅増額を図るため、引き続き関係方面に対する要望活動を強力に行ってまいります。

[今号は1枚]